**先生と図書委員（＆有志）からのおすすめ本紹介**

**（図書室だより　令和６年　秋号　より）**

**高校生に読んで欲しい本　　　　K.T**

【1冊目】：『フライド・グリーン・トマト』（ファニー・フラッグ【著】）(1987)

【2冊目】：『サイコパス』（中野信子【著】）(2016)

【3冊目】：『るつぼ』（原題： The Crucuble)（アーサー・ミラー【著】）(1953)

【4冊目】：『仮面の告白』（三島由紀夫【著】）(1949)

【5冊目】：『二重に差別される女たち　ないことにされているブラック・ウーマンのフェミニズム』

（ミッキ・ケンダル【著】）(2021)

【6冊目】：『グレッグのダメ日記』（ジェフ・キニ―【著】）(2008～)

【7冊目】：『寄り道ふらふら外国語』（黒田龍之助【著】）(2014)

【8冊目】：『僕たちはドクターじゃない』（京本喬介【著】）(2012～)

【9冊目】：『給食のおにいさん』（遠藤彩見【著】）(2013～)

**『ゼロからはじめる！お金のしくみ見るだけノート』（伊藤亮太【監修】）　M.N**

保険や税金、車にかかる費用などなんとなくは知っていても中身はあまり知らない、けれども人生の中で必要なお金の話が、ものすごくわかりやすく説明されています。小説とかではないですが、読むとためになるかと思います。

**『風都探偵』（石ノ森章太郎/三条陸著）　　M,Y**

今回、僕のおススメする本は「風都探偵」です。

　この本は、左翔太郎とフィリップという二人で一人の探偵で、風の街と呼ばれる「風都」で次々と起きる奇妙な事件を解決していきます。僕がこの本をおススメするのは、変身するところと戦闘シーンなど、ストーリー性がかなり細かく書かれているところです。実際にTV放映されていた、「仮面ライダーW」とはかなり違っていて、とても面白いです。さらにフィリップや翔太郎の仲間の、仮面ライダーアクセルがとてもかっこいいです。特に二人のライダーの共闘がとてもかっこよくて最高です。その他にも、ダブルやアクセルのフォームが変わったり、決め台詞を言ったり、同時に変身するところも素晴らしいです。

「風都探偵」はアニメになっていた事もあったので、是非見て欲しいです。または、TTFCというアプリで見られるのでぜひ見て欲しいです。

**『地縛少年花子くん』（あいだいろ著）　　K.U**

私がおススメする本は「地縛少年花子くん」です。

主人公である寧々が、学校の七不思議で花子さんを呼び出したところから始まります。みんなが想像している花子さんではなく、学ランを着ている男の子が花子さんと名乗ります。そして他の七不思議も気になっていた寧々の手助けをする形で、七不思議の七番目である花子くんの物語が始まります。

個人的に特におススメできる場面が、主人公である寧々と他に出てくる人物との関わりです。特におススメできるキャラクターは寧々に七不思議を教えてくれる子で、最初は教えるだけでしたが、どんどん一緒に調べるようになります。が、どちらかというと巻き込まれる方で、読んでいてとてもハラハラします。そして、次第に成長していく寧々とその周りとの関係性の変化や接し方が好きなので、先のストーリーを予想したりすることができます。他にも自分が知っている七不思議とは違う内容で、どのような仕組みになっているのかを知ることができるので、読んでいて飽きない作品になっています。

**『アリエナイ理科ノ教科書』（薬理凶室著）　　　　　　　S.O**

色々なジャンルの話が入っていて、勉強にはなるけれど、「学校の勉強」には役に立たない教科書です。『ドクターストーン』に協力していたマッドサイエンティストの話も入っています。面白おかしく書かれているけれど、科学的な知識はしっかり入っています。用語の説明もされているから、いちいち調べる必要もなく読み続けられます。

ただし、基本的に実行に移すのはよくないことなのでやめておきましょう。

**『週末陰陽師』（遠藤遼著）　　　　　　　　　　　　　　　　M.Y**

平日は保険会社で働いていて、週末は天才陰陽師のオカルト×お仕事ストーリー。

主人公の小笠原真備はすごくお人好しな性格が災いし、なかなか成績を上げられない営業マン。ある日の飛び込み営業中、真備は鷹の台の豪邸に住む清楚な女子大生、二条桜子と出会う。保険に興味を持った桜子は真備の話を熱心に聞き、訪問先の紹介までしてくれるが、それがどれも「週末案件」な家ばかりで…！？

現在２巻まで発売されていて、読み始めるとスラスラ読めてしまう本です。

ぜひ読んでみてください！

**『あの夏が飽和する。』（カンザキイオリ著）　　　　　M.N**

自分が紹介する本は「あの夏が飽和する。」という本です。この本は「ボカロP」という作曲をしている「カンザキイオリ」という方が書いた本です。カンザキイオリさんが出している楽曲の１３年後の話を書いており、大人になった主人公に起こる１３年前の出来事に似た事に、子どもの頃とは違った解決法を考え立ち向かっていくという内容の本です。

曲を聴いた人は、読んでみて欲しい本で、曲を聴いたことがない人は曲だけでも聴いてみてください。